

# 第59回近畿実業団バスケットボール選手権大会

## 男子決勝 戦評

月日:2014年10月12日(日)

時間:16:40

会場:大阪市中央体育館 サブアリーナ

黒田電気(大阪) 63	23	-	13	74	タツタ電線(大阪)
	9	-	15		
	9	-	23		
	22	-	23		
	-	-	-		
主審:生島 匡(兵庫)					
副審:細見 竜太(大阪)					

決勝は2年連続11回目の優勝を目指す黒田電気と2年振り7回目の優勝を目指すタツタ電線との9年連続の同一カード。スタートは黒田⑧⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱、タツタ⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱。1Qは互いにマンツーマンディフェンス。タツタ⑦の2Pで始まるが黒田も⑧の2Pで反撃し、⑫の速攻・バスカンで5-2とリードし、黒田が先手を取りながら、試合を進める。残り1分18秒には黒田⑱の3P・ワンスローも決まり、22-11のダブルスコアとなる。その後、タツタの追いつこうとするも23-13の黒田10点リードで1Qを終了。2Q、互いになかなか得点に結びつかず、残り7分27秒で黒田がTOを要求。黒田はインサイドへ、そして、ペネトレイトと内外の攻撃を仕掛けるが点が伸びない。一方、タツタもなかなかリズムがつかめず、シュートも単調になり、点差が思うように縮まらない。しかし、残り4分を切ったところから、黒田の点が伸びないところをタツタは⑮の3Pなどで、残り1分30秒で30-27の3点差とする。しかし、最後は黒田も踏ん張り、32-28の黒田4点リードで前半を折り返す。3Q、タツタ⑦の2Pで始まるが、黒田も⑮の速攻で対抗。タツタ⑦⑮の連続3Pで34-36の逆転に成功するも、黒田もここで踏ん張り再逆転。ここからは一進一退の攻防が続くも、タツタは3P攻勢で一気に41-46の5点差にする。残り2分を切ってからタツタはリバウンドを頑張り、加点を続け、41-51のタツタ10点リードで3Q終了。4Qに入ってもタツタのリバウンドを制し、加点を続ける。それに対し、黒田は思うように得点に結びつかない。残り7分7秒、44-58とタツタが14点差をつけたところで黒田はTOを要求。黒田はリズムを掴み加点を始めるが、タツタは再び3Pで応酬し、点差を詰めさせない。黒田がリズムを掴みかけるかという残り4分45秒でタツタがTO。その後、黒田は⑫を中心に加点し点差を詰め、タツタは⑦を中心にゲームを組み立て、得点を重ねる。残り2分32秒で黒田はTOを取り反撃を企てるも、タツタのリバウンドと3Pの勢いは最後まで衰えず、最後はタツタ電線が74-63で2年振り7回目の優勝を飾った。

# 第59回近畿実業団バスケットボール選手権大会

## 女子決勝 戦評

月日:2014年10月12(日)

時間:15:00

会場:大阪府中央体育館 サブアリーナ

滋賀銀行(滋賀) 65	22 - 13	57 紀陽銀行(和歌山)
	16 - 13	
	14 - 11	
	13 - 20	
	-	
主審:藤原健司(大阪)		
副審:清瀬未喜(大阪)		

決勝は2年連続11回目の優勝を目指す滋賀銀行と2年振り2回目の優勝を目指す紀陽銀行の4年連続の同一カード。スタートは滋賀⑤⑥⑦⑨⑮、紀陽は④⑧⑫⑭⑮。互いにマンツーマンディフェンスから始まる。1Q序盤、滋賀は⑤を中心に組み立て、速攻をからめて8-2とリード。残り6分32秒、紀陽はTOで立て直しを図るが滋賀も⑥⑮と着実に加点を続け、滋賀リズムでの展開が続き22-13の滋賀9点リードで1Qを終了。2Q、紀陽⑪の3Pで反撃を開始するも、滋賀はリズムを崩さずに対抗し、紀陽の反撃を組み止める。残り3分54秒、紀陽は2回目のTOを取り、⑪を中心に点差を縮めようとするも、滋賀⑩⑪が得点を重ね、38-26の滋賀12点リードで前半を折り返す。3Q、滋賀はリバウンドを頑張り、着実に加点をし、残り6分20秒には43-26の17点差にまでリードを広げる。残り6分で紀陽は3Qの初得点を上げるも、残り5分を切ったところで、紀陽はたまたまずタイムアウト。しかし、滋賀のリズムは崩れず、一進一退の攻防が続くが、互いに得点が伸びない。ここで紀陽はチームファールが4回を数え、苦しい展開を向かえる。滋賀⑪の3Pもあり、点差が縮まらない。紀陽はインサイドで対抗するが、52-37の滋賀15点リードで3Q終了。4Q、徐々に紀陽のシュートが決まりだし、残り8分をきったところで、52-42の10点差まで紀陽も追い上げる。しかし、滋賀は2Pを重ね、反撃を食い止める。残り5分29秒で紀陽は2回目のTOを取り、反撃を図る。紀陽④⑭が得点を重ね、残り4分を切ると両チームとも一段のアグレッシブな攻撃を繰り返し、紀陽が60-52の8点差においついたところで滋賀がTOを要求。だが、紀陽のリズムは止まらないが、滋賀も必死に踏ん張り、残り1分をきってから⑨⑪が得点し、逆にリードを広げる。最後は、滋賀銀行が65-57で2年連続11度目の優勝を飾った。